

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
06426三川町	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	多様な学習機会を確保する上では、学校や行政はもちろんのこと、地域の力や知識がより重要である。しかし、現在のところ学校と地域が直接的且つ恒常的に関わりあう体制が確立しておらず、事業実施の持続可能性が乏しく、教員の負担も大きくなっている。	町内の4小中学校すべてに担当のコーディネーターがおり、町の施設に常動している。学校の教員から直接コーディネーターに電話が入るなど、学校と地域の関係が深まりつつある。	本町においては、社会教育係職員が地域コーディネーターを担っており、学校と地域を円滑につなぐことが可能であることから、学校において地域力を活用した学習の計画があった場合の一次窓口を担う。	地域コーディネーターが学校と地域とをつなぐ中核的な役割を担うことにより、教員の労力軽減と地域力の効率的活用を図り、学校と地域が一体となって児童生徒の効果的な学習機会を担保できる環境を創っていく。	年間の学校と地域の学習機会のうち、本来教員自らが地域の人材や能力発掘に係るものを、地域コーディネーターが担うことにより労力軽減につながった回数の割合。	10	%	20	10	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 町内各学校担当のコーディネーターが、社会教育係にいる。各学校の教頭先生からだけでなく、教員から直接コーディネーターに依頼もくるが、割合としては少ないのが現状である。そのため、学校に対して、コーディネーターをもっとアピールしていきたい。